2026 年度版

あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況

(2025 年度年次報告書)

AICHI "Heart" of JAPAN ~Technology & Tradition

愛知県

本書は、愛知県観光振興基本条例第９条第６項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画で定めた観光振興に関する施策の 2025 年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目次

あいち観光戦略 2024-2026 の概要……1

1　数値目標の達成状況……3

(1) KGI 達成状況……4

(2) 関連 KGI 達成状況……6

2　2025 年度の観光振興施策の実施状況……10

展開分野Ⅰ　地域資源の観光コンテンツ化……10

展開分野Ⅱ　PR・プロモーション……15

展開分野Ⅲ　受入環境の整備……22

展開分野Ⅳ　観光地経営体制の強化……26

展開分野Ⅴ　MICE の誘致・開催に向けた取組強化……30

3　2026 年度の主要な観光振興施策……34

展開分野Ⅰ　地域資源の観光コンテンツ化……34

展開分野Ⅱ　PR・プロモーション……37

展開分野Ⅲ　受入環境の整備……40

展開分野Ⅳ　観光地経営体制の強化……42

展開分野Ⅴ　MICE の誘致・開催に向けた取組強化……44

＊本報告書は、主な事業を抜粋して掲載したものであり、全ての施策、事業を掲載しているものではありません。

あいち観光戦略2024-2026の概要

1　基本的な事項

策定の目的	観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上に寄与することにより、訪れる人（旅行者）、住む人（県民）、働く人（観光関連事業者等）が満たされた状態（ウェルビーイング）を実現する。
位置付け	①愛知県観光振興基本条例に基づく観光振興に関する基本的な計画 ②「あいちビジョン2030」及び「あいち経済労働ビジョン2021-2025」に連なる、観光振興分野の具体的な計画
期　　間	2024年度～2026年度（３か年）

2　愛知の観光を取り巻く状況

観光マーケットの傾向

- 観光消費喚起事業による国内旅行マーケットの下支え
- インバウンド需要の回復・増加
- 観光関連産業における人員不足感の高まり
- 「新たな旅のスタイル」の進展
- パーソナルで高付加価値な観光需要の高まり
- 持続可能な観光に対する意識の高まり
- 旅マエ・旅ナカ・旅アトにおけるデジタルの浸透
- MICE需要の回復・成長
- MICEマーケットの変容

「あいち観光戦略2021-2023」の評価・課題

- 本県が目指す観光の明確化と地域との共有
- 県－地域間の連携強化
- 運輸機関との連携強化
- 公式観光サイトによる情報発信力の向上
- 地域資源の観光コンテンツ化プロセスの確立
- 高級ホテル整備の進展
- 国際会議や展示会開催の定着・拡大
- インバウンド需要回復の遅れ
- 高付加価値な観光コンテンツの開発力･販売力不足
- デジタルシフトの遅れ
- 県民の県内観光推奨意向の低迷
- 多様な主体の巻き込み不足
- MICE開催地に経済波及効果が偏在
- 企業等の会議や報奨・研修旅行に係る実態把握の不足

3　目指すべき姿

「さすが」と言いたくなる「観光県・あいち」
－ あいち「ツウ」リズム2.0 －　【革新・成長】【持続可能】【高付加価値】

本県には、歴史や産業、自然、文化、食などの地域資源が豊富に存在します。これら地域資源が持っている本来の魅力を、オープンイノベーション等を通じて高付加価値で持続可能な観光コンテンツとして磨き上げます。そして、本県を訪れた人に、思わず「さすが」と言っていただけるような、期待を超える感動を提供できる観光県を目指します。

この目指すべき姿の実現を図るため、「革新・成長」「持続可能」「高付加価値」を切り口に観光振興施策を進化させます。

4　施策立案・実施にあたっての基本方針

A. 高付加価値化の推進
- 属性に加え、趣味嗜好に応じたマーケティングを重視
- 「あいち」ならではの魅力・強みを最大限生かす

B. 持続可能性の追求
- 観光地域全体の持続可能性を考慮した観光振興を推進

C. デジタル化・DXの推進
- デジタルシフトを進め、商品・サービスや業務面の変革を促進

D. オープンイノベーションの促進
- 多様な主体との連携によりオープンイノベーションを促進

5　施策の展開分野及び実施すべき施策

Ⅰ．地域資源の観光コンテンツ化
- 満足度・推奨度の向上を図るとともに、国内及び訪日外国人旅行者の観光消費額単価の向上を図る
- 訪日外国人旅行者に向けては、国や地域などの特性も踏まえ、訴求力がある体験型コンテンツを造成

Ⅱ．PR・プロモーション
- ターゲットを設定し、的確かつ効率的に情報を送り届ける
- 訪日外国人旅行者に向けては、国や地域別にそれぞれの嗜好に合わせた内容や手段も重視

Ⅲ．受入環境の整備
- 誰もが安心して快適に旅行を楽しむことができる観光地づくりの推進
- 多様な宿泊ニーズや「新たな旅のスタイル」への対応のほか、移動や消費の利便性を高める取組等を推進

Ⅳ．観光地経営体制の強化
- 各団体間の連携・協働を進め、観光地経営体制の強化に寄与
- 観光地域づくりに多様な主体を巻き込み、各主体の観光振興に係る取組を促進

Ⅴ．MICEの誘致・開催に向けた取組強化
- 本県の強みを生かし、市町村や経済界、学術機関等と連携して、MICEのさらなる誘致・開催に向けた取組を推進
- 県内観光地等への周遊を促し、滞在時間や消費の拡大につなげる

6　数値目標

【質】観光消費額単価 ＊2019年比1.25倍	日本人 6,850円 外国人 80,000円	×	観光消費額 1.1兆円 うち外国人 3,040億円
【量】観光入込客数 ＊2019年水準	全体1.2億人回 うち日本人11,620万人回 うち外国人 380万人回	=	

満足度	全体50.0%、外国人50.0%
推奨意向	県民30.0%、県外在住者50.0%
再訪意向	県外在住者100.0%

来県外国人旅行者数	290万人
延べ宿泊者数	全体2,000万人泊
（うち外国人	365万人泊）
国際会議開催件数（JNTO基準）	260件

7　推進体制



1 数値目標の達成状況

「あいち観光戦略 2024-2026」において目標として掲げている指標に対する達成状況は、下表のとおりであった。

		2023 年 実績	2024 年 実績	2025 年 実績	目標値 (2026 年)
観光消費額単価 【質】	日本人	9,260 円	8,386 円	8,911 円	6,850 円
	外国人	80,135 円	119,436 円	127,283 円	80,000 円
観光入込客数 【量】	全 体	1 億 12 万人回	1 億 1,073 万人回	1 億 1,403 万人回	1.2 億人回
	日本人	9,842 万人回	1 億 816 万人回	1 億 1,097 万人回	1 億 1,620 万人回
	外国人	171 万人回	256 万人回	306 万人回	380 万人回
観光消費額	全 体	1 兆 482 億円	1 兆 2,131 億円	1 兆 3,784 億円	1.1 兆円
	外国人	1,370 億円	3,060 億円	3,895 億円	3,040 億円
来県外国人旅行者数		118 万人*1	251 万人	295 万人	290 万人
延べ宿泊者数	全 体	1,886 万人泊	2,132 万人泊	2,275 万人泊	2,000 万人泊
	外国人	201 万人泊	391 万人泊	486 万人泊	365 万人泊
国際会議開催件数 (JNTO 基準)		25 件 (2022 年)	69 件 (2023 年)	96 件 (2024 年)	260 件
満 足 度 (「非常に満足」の割合)	全 体	36.9%	43.8%	50.8%	50.0%
	外国人	44.9%	51.4%	55.4%	50.0%
推奨意向 (高位層*2)	県 民	17.4%	21.4%	24.1%	30.0%
	県外在住者	25.7%	33.1%	33.3%	50.0%
再訪意向	県外在住者	90.9%	93.4%	92.6%	100.0%

＊1 来県外国人旅行者数を算出する因子の一つである「都道府県別訪問率」を測定する観光庁「訪日外国人消費動向調査」の 1-3 月期が欠測のため、値は 4-12 月の数値を参考値として算出。

＊2 「愛知の観光をまったく推奨しない」を 0 点、「とても推奨したい」を 10 点とした場合に、9～10 点と回答した層。

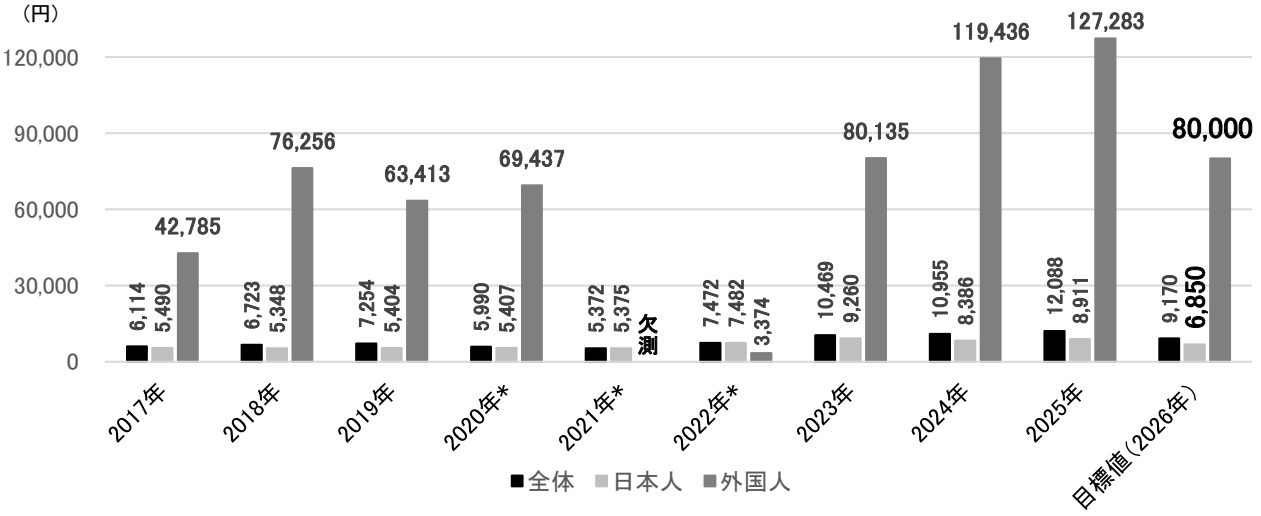
(1) KGI(Key Goal Indicator:重要目標達成指標)達成状況

2025 年の本県の観光は、観光消費額単価と観光消費額がともに前年より増加し、前年に引き続き 2026 年の目標値を上回った。

一方で、観光入込客数は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の 2019 年の水準には届かなかった。

(ア)観光消費額単価【質】

2025 年の観光消費額単価は、日本人が 8,911 円と前年より増加し、目標値を上回る水準を維持している。外国人の観光消費額単価は過去最高の 127,283 円を記録し、前年に引き続き目標値を大きく超えた。



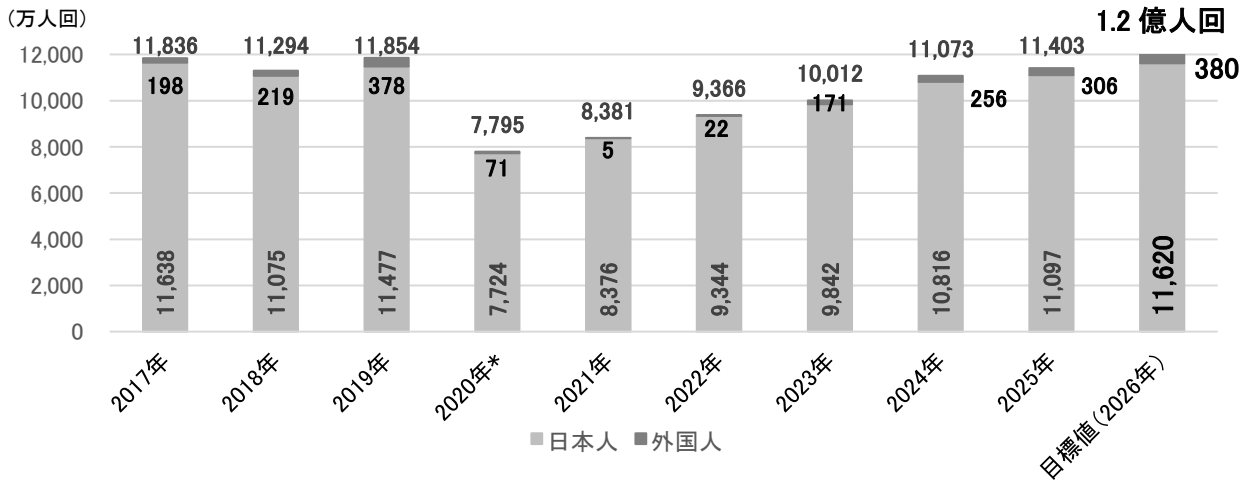
出典:愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出。

＊2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。
＊2021 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから、外国人の観光消費額単価は欠測。
＊2022 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから、参考値として推計。

(イ)観光入込客数【量】

2025 年の観光入込客数は 1 億 1,403 万人回であった。内訳は、日本人は 1 億 1,097 万人回、外国人は 306 万人回であり、ともに前年を上回った。

なお、2019 年と比較すると、日本人は 97%、外国人は 81%にとどまった。

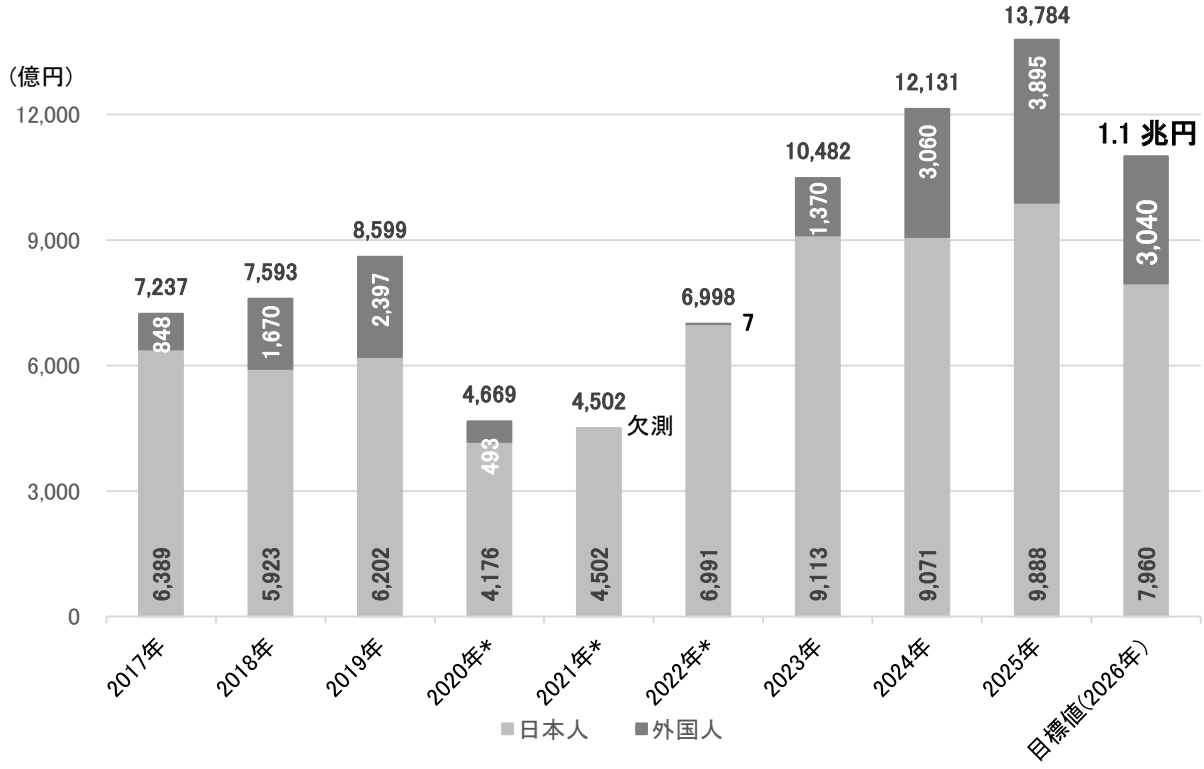


出典:愛知県「愛知県観光入込客統計」

＊2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。

(ウ)観光消費額

2025 年の観光消費額は 1 兆 3,784 億円で、過去最高を記録し、前年に引き続き目標値を上回った。



出典:愛知県「愛知県観光入込客統計」

＊2020 年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。
＊2021 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから、外国人の観光消費額は欠測。
＊2022 年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施できなかったことから、参考値として推計。

【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

宿泊者の観光消費額は県内在住者、県外在住者、外国人のいずれも前年より増加しており、宿泊型消費の拡大が続いている。

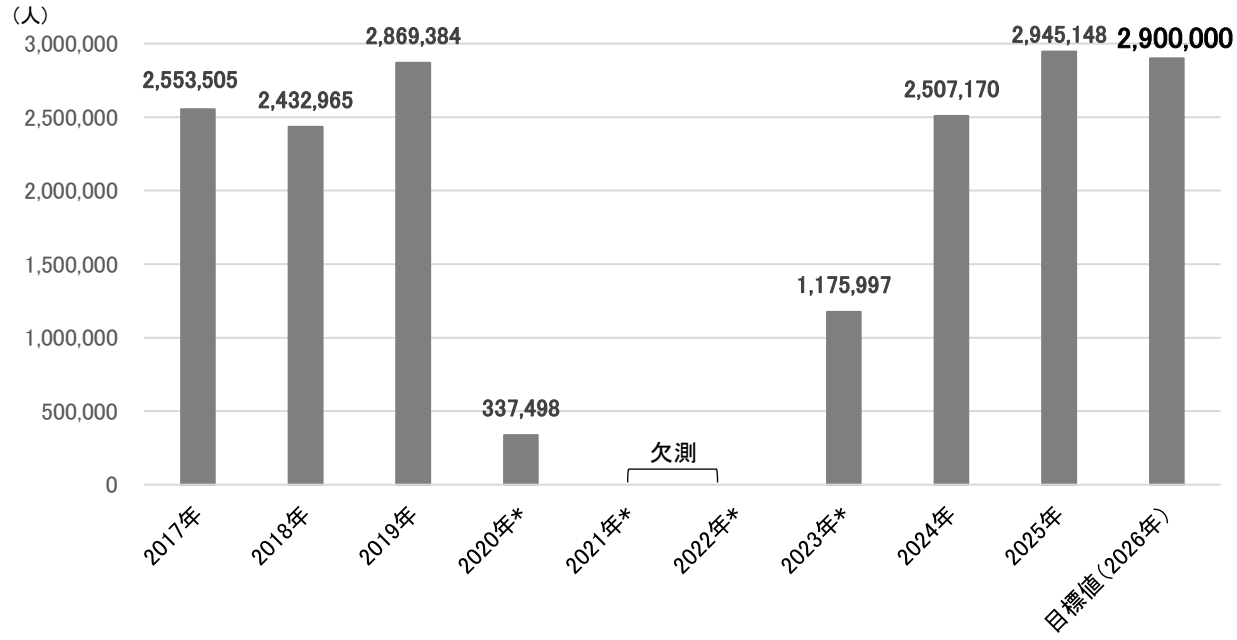
	2024 年(億円)	2025 年(億円)	2025/2024 年比
県内在住者・宿泊	965.6	1,236.2	1.28 倍
県内在住者・日帰り	1,922.6	2,417.4	1.26 倍
県外在住者・宿泊	3,977.4	4,058.4	1.02 倍
県外在住者・日帰り	2,205.1	2,176.1	0.99 倍
外国人・宿泊	3,050.1	3,891.7	1.28 倍
外国人・日帰り	9.8	3.8	0.38 倍

出典:愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出。

(2) 関連 KGI 達成状況

(ア)来県外国人旅行者数

2025 年の来県外国人旅行者数は 2,945,148 人で、過去最高を記録し、目標値を達成した。

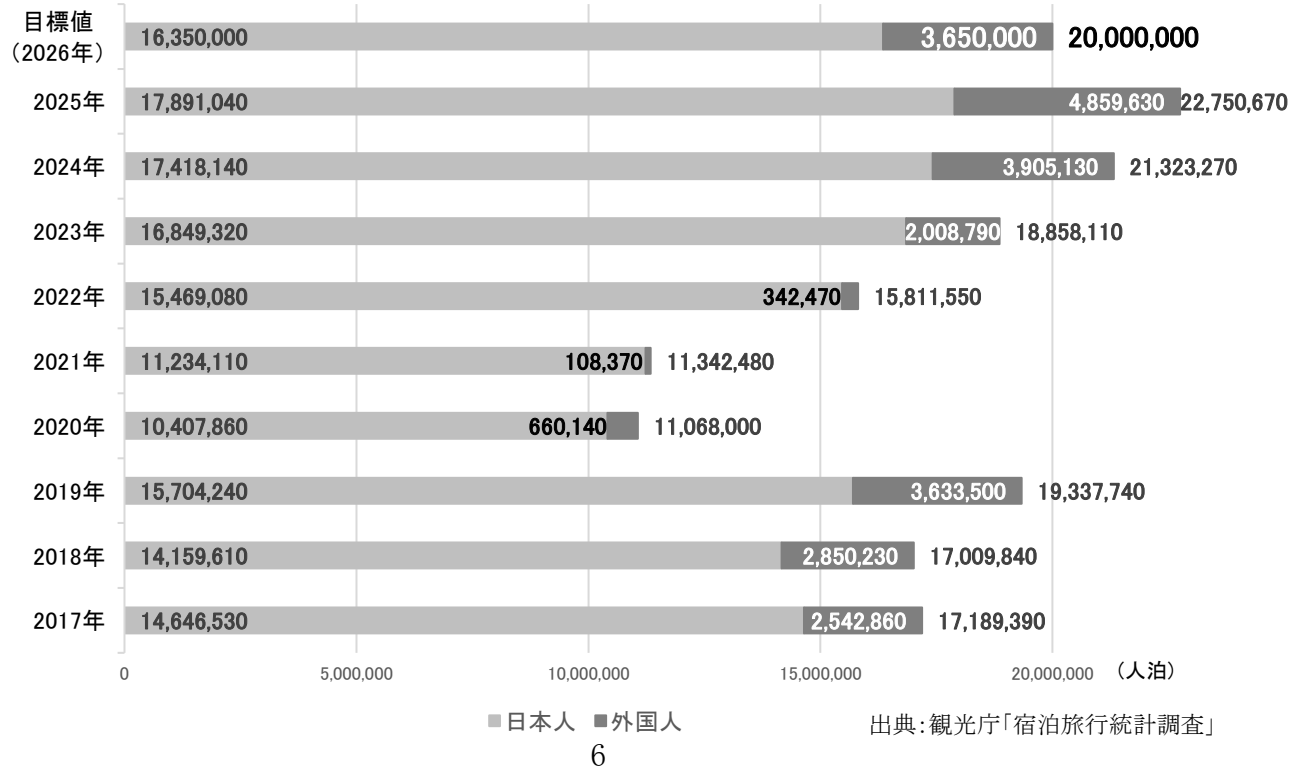


出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」、観光庁「インバウンド消費動向調査」(旧 訪日外国人消費動向調査)より算出。

＊来県外国人旅行者数を算出する因子の一つである観光庁「訪日外国人消費動向調査」の「都道府県別訪問率」について、2020 年は 1-3 月期の訪問率のみ公表されていることから、1-3 月期の訪問率のみで算出。
＊2021 年及び 2022 年は、訪問率が公表されていないことから欠測。
＊2023 年は、4-12 月期の訪問率のみ公表されていることから、4-12 月期の来県外国人旅行者数を参考値として算出。

(イ)延べ宿泊者数

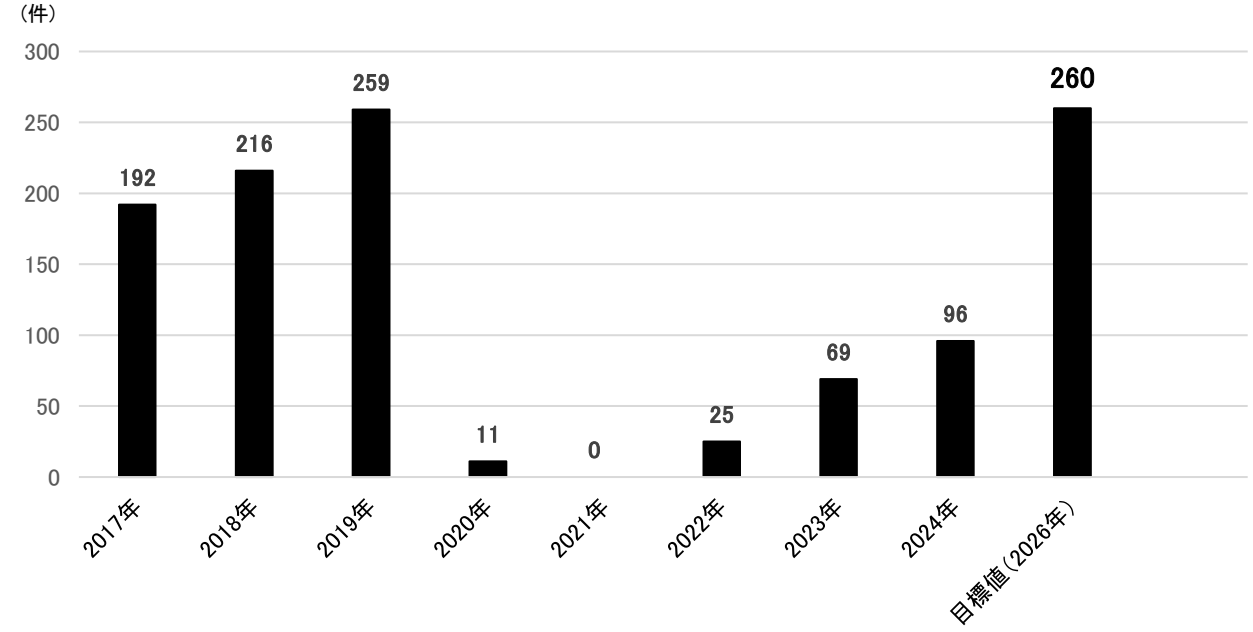
2025 年の延べ宿泊者数は、日本人 17,891,040 人泊、外国人 4,859,630 人泊となり、ともに前年に引き続き目標値を上回った。



出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

(ウ)国際会議開催件数

2024 年の国際会議開催件数は、コロナ禍から回復傾向にあるものの、2019 年の水準には届いていない。なお、都道府県別の開催件数では、2019 年の全国 7 位に対し、2024 年は 6 位であり、順位に大きな変化はなかった。

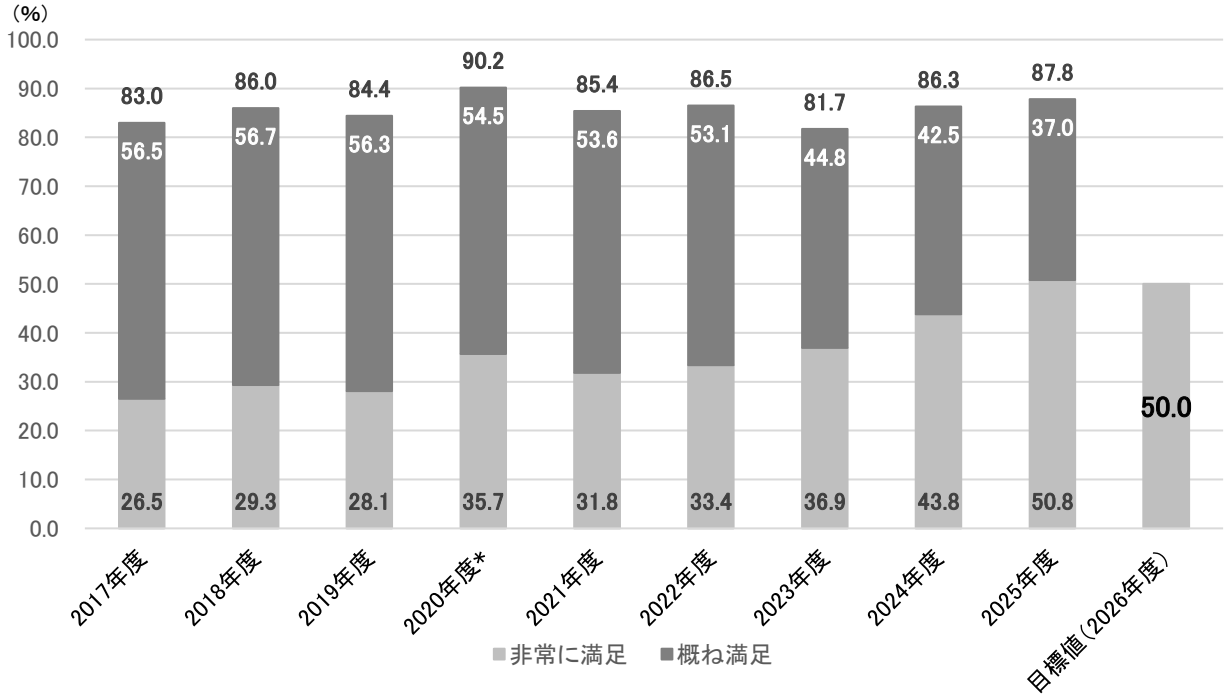


出典:日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

＊国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する、参加者総数が 50 名以上、参加国が 3 か国以上の会議(日本政府観光局(JNTO)の「国際会議選定基準」)。

(エ)満足度(全体)

「非常に満足」と回答した割合は 50.8%で、過去最高を記録し、目標値を達成した。

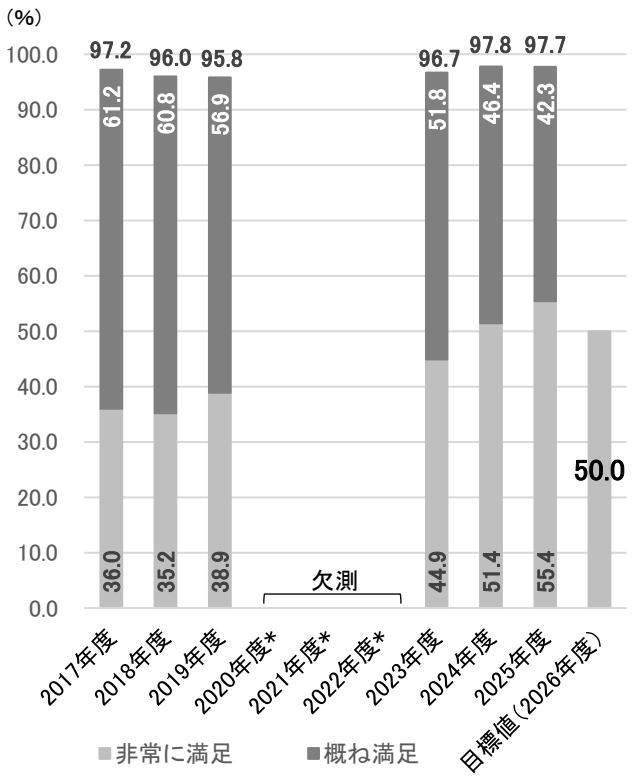


＊2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで満足度を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

【参考】満足度(外国人)

「非常に満足」と回答した割合は 55.4%で、過去最高を記録し、前年度に引き続き目標値を上回った。

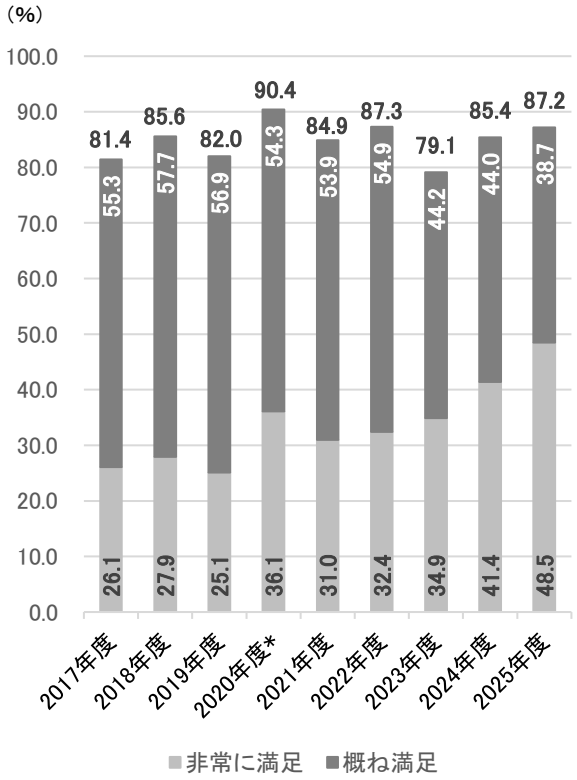


出典:愛知県「愛知県訪日外客動向調査」

＊2020～2022 年度は、愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったことから欠測。

【参考】県内在住者満足度の推移

前年度に比べ、「非常に満足」が大きく伸びた。

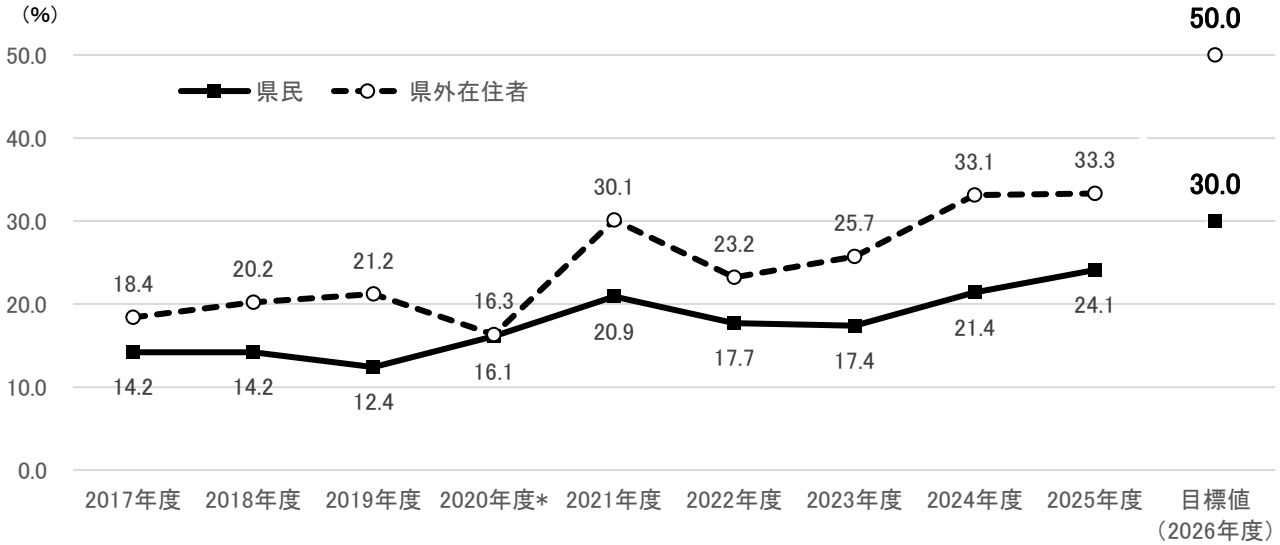


出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

＊2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで満足度を算出。

(オ)推奨意向

推奨意向は、県民 24.1%、県外在住者 33.3%と、それぞれ過去最高を記録したものの、ともに目標値には至っていない。

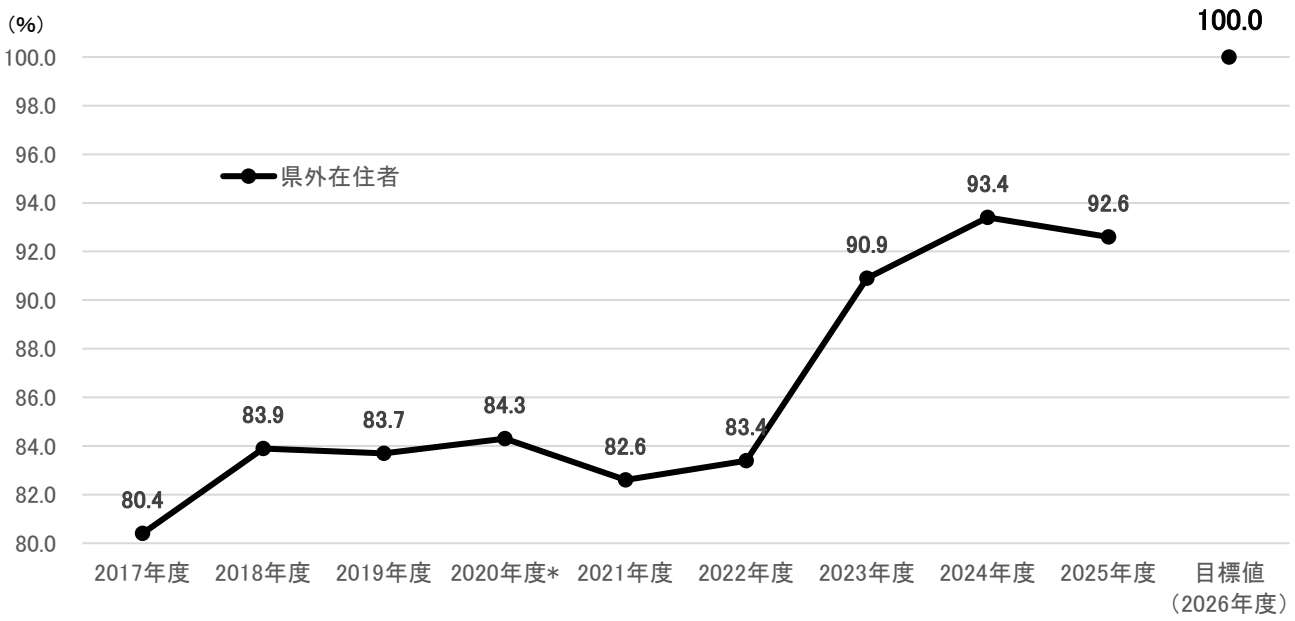


＊2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで推奨意向を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

(カ)再訪意向

県外在住者の再訪意向は 92.6%と前年度と同水準であったが、目標値には至っていない。



＊2020 年度は、10-12・1-3 月の 2 期のみで再訪意向を算出。　　出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

2 2025 年度の観光振興施策の実施状況

展開分野Ⅰ　地域資源の観光コンテンツ化

A. 高付加価値化の推進

①資源の持ち手に対する観光コンテンツ化の理解促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手（生産者や食品加工業者等）に対し、本事業に参画することで得られるメリットを紹介する説明動画を配信。

≪実績≫
視聴回数:61 回

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

・ 協議会構成員及び関係者へ向けて、有識者等によるインバウンド受け入れの意義等の講演を行うセミナーを開催。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 17 日
参加者:151 名（会場 72 名、オンライン 79 名）

②「ツウ」な人でも満足できる観光コンテンツの造成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) −再掲−

・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツを造成するため、資源の持ち手・担い手（生産者や食品加工業者等）に対し、コンテンツの造成方法や販売方法を専門家が助言し、地域資源の磨き上げを支援。

≪実績≫
支援対象者:３団体（(株)宿福、(株)ブルーチップファーム、(株)岩田三宝製作所）

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

・ 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、スタジオジブリ作品のファン層が満足できるような観光コンテンツの造成を支援。

≪実績≫
造成件数:24 件（2026 年３月末時点）
販売数:2,367 件（2022 年８月からの累計）

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

・ 市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツに磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

≪実績≫
販売された造成コンテンツ:60 商品、販売実績:1,497 人

【武将観光情報発信】(観光振興課)

・ 武将観光資源に恵まれた本県の特性を生かし、全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャ フェスティバル」を開催。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 30 日
会場:県営都市公園大高緑地、来場者数:3.1 万人



「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2025」

【歴史観光推進】(観光振興課)

・ 三英傑をはじめ多くの武将たちの活躍の舞台となった歴史の現場において、著名な有識者によるガイドウォークを行う体験型イベントを開催。

≪実績≫
開催日:2025 年 12 月 6 日
場所:設楽原歴史資料館
内容:小和田哲男静岡大学名誉教授の講演及び長篠・設楽原決戦場跡現地解説ツアー
参加者数:30 名

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ インバウンド誘致に取り組む事業者(蔵元等)を支援。

≪実績≫
・伴走支援:3 社
・初動支援:7 社

【TOPICS ❶】発酵食文化ツーリズムのコンテンツ化への取組

愛知県では、世界的な「発酵食文化」への関心の高まりを背景に、2024 年5月に「愛知『発酵食文化』振興協議会」を設立し、愛知の「発酵食文化」の振興及び国内外からの誘客につながる取組を実施しています。

その一環として、発酵食文化を観光資源として磨き上げるため、蔵元やガイドを対象とした育成プログラムを実施しました。既に「発酵食文化」を活用したコンテンツを造成している事業者には、専門家を派遣して、受入体制改善の伴走支援を行ったほか、新規参入に意欲のある事業者には、初動支援のためのワークショップ形式の研修プログラムを提供しました。また、外国人旅行者に愛知の発酵食文化の魅力を伝えるガイド人材の育成にも取り組み、知識習得と実践的な研修を実施しました。これらの取組を通じて、発酵食文化ツーリズムのコンテンツ充実と受入環境の向上を図りました。

～多彩な発酵食文化の物語～
うまみ県あいち
UMAMI うまみ AICHI

協議会の
キャッチコピーとロゴマーク



ガイド育成の様子

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課)

・ インバウンドの受け入れに意欲がある県内施設等を対象に、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等ができる体験型コンテンツの造成を支援。

≪実績≫
造成コンテンツ数:4コンテンツ

・ インバウンドの受け入れに意欲がある県内施設等を対象に、海外個人旅行者が満足できるような体験型コンテンツの造成を支援。

≪実績≫
造成コンテンツ数:5コンテンツ

【「あいち創業館」の運営】(スタートアップ推進課)

・ あいち創業館における本県ゆかりの創業者・経営者の業績及び産業についての情報発信。

③テーマ性の高い周遊観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー】(観光振興課)

・ 産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、岐阜県との連携によるデジタルスタンプラリー「あいちとぎふ　見にトリップスタンプラリー」を開催。

≪実績≫
期間:2025 年 7 月 18 日～2026 年 2 月 28 日
参加施設:120(愛知:60、岐阜:60)
参加者数:7,440 人
「あいちとぎふ　見にトリップスタンプラリー」による施設来訪者数:14,389 人



パンフレット表紙

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 歴史ファン層をターゲットにしたデジタルスタンプラリーを開催。

≪実績≫
期間:2025 年 9 月 12 日～2026 年 3 月 11 日
全2コース、参加者数:1,861 名



パンフレット表紙

・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、滋賀県、奈良県と連携し、県域をまたいだ広域周遊企画「愛知・滋賀・奈良　秀長・秀吉　夢の軌跡スタンプラリー」を開催。

≪実績≫
期間:2026 年 1 月 24 日～3 月 15 日
台紙帳配布数:19,424 部



台紙帳表紙

④魅力ある観光土産品の開発

【愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会】(観光振興課)

・ 愛知県観光土産品協会・愛知県観光土産品公正取引協議会主催の愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会での知事賞の交付。

≪実績≫
審査会開催日:2025 年 3 月 5 日、表彰日:2025 年 7 月 1 日、応募数:26 社 53 点

【愛知のふるさと食品コンテスト】(食育消費流通課)

・ 愛知県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的に、愛知のふるさと食品コンテストを開催。

≪実績≫
募集期間:2025 年 5 月 7 日～2025 年 6 月 27 日
審査会開催日:2025 年 7 月 31 日、応募数:20 商品

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

・ 「SDGsな旅」をテーマに、広く県内外から観光振興に資する企画を募集し、優れた企画を選定・表彰。

≪実績≫
観光まちづくりアワード応募数:117 件

【花の王国あいちのPR】(園芸農産課)

・ 花と緑のイベント「あいち花マルシェ」の開催。

≪実績≫
名古屋ステージ:2025 年 10 月 4 日～5 日、名城公園北園で開催
三河ステージ:2025 年 11 月 15 日～16 日、安城産業文化公園デンパークで開催

【食に関する観光の推進】(農業振興課・食育消費流通課)

・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広く PR することにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。

・ 「あいちの農林水産フェア」の開催。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 8 日～9 日、場所:オアシス 21 銀河の広場

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

・ 市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施(詳細 P10)。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタル上で稼働する観光コンテンツの造成

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

・ 「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求するため、「AICHI X TECH 事業」により、スマートフォンで遊ぶ体験型コンテンツを創出。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 30 日、場所:県営都市公園大高緑地
参加者数:232 人

②デジタルベースドな人流データや評価情報等に基づく観光コンテンツの造成・改善

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

・ 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用した観光コンテンツの造成・改善を支援。

≪実績≫
観光動態データ閲覧サービスの活用事例数: 6 事例

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供し、観光コンテンツの造成・改善を支援(詳細 P10)。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「庭園」をテーマにしたフォトコンテストを開催。

・ フォトコンテスト参加者の属性や評価情報(口コミ等)を取得・分析することにより、次年度以降の施策改善に活用。

≪実績≫
期間:2025 年 9 月 30 日～2025 年 12 月 26 日、応募数:344 件

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光コンテンツの造成能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

・ 観光まちづくりに関心のある県民等(観光関係者を含む)を対象に、ツアーの企画に向けたグループワークを実施するとともに、優れた企画をモニターツアーとして実施。

≪実績≫
観光まちづくりゼミ:全３回実施
開講式(参加者 37 名)、ワークショップ・中間発表(参加者 24 名)、企画発表会(参加者 28 名)
モニターツアーコース名:「運気が上がるパワースポットめぐり」(西尾市)
開催日 2025 年 11 月 22 日、参加者数 20 名
モニターツアーコース名:「つくって！まなべる！春の中川運河わくわく工場見学ものづくり体験ツアー」(名古屋市中川区)
開催日 2025 年 12 月 7 日、参加者数 19 名

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

・ 「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求する体験型コンテンツを創出するため、「AICHI X TECH 事業」により、デジタル技術を活用した解決策を提案するスタートアップ等と連携を実施(詳細 P13)。

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

②異業種・学術機関との連携による観光コンテンツの造成、及びその能力の向上

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「食」に係る生産者や加工業者等を巻き込むことにより、新たな観光コンテンツの開発・改善を促進。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「庭園」をテーマにしたフォトコンテストの開催において、大学等と連携し、PR・プロモーションを設計・改善。

【TOPICS ❷】「愛知サムライガーデン」の国土交通省「ガーデンツーリズム登録制度」への登録が決定しました

県、市町村、観光関係団体等で構成する「あいちの歴史観光推進協議会」において、「武将」「お城」「街道」「庭園」などのテーマを掛け合わせた「歴史観光」の振興に取り組んでいます。その一環として、四季折々の花々などの「写真映えするコンテンツ」が豊富な武将等にゆかりがある庭園、「サムライガーデン」を活用したフォトコンテストを開催しました。

さらに、「サムライガーデン」を観光誘客に活用するための計画を策定して、国土交通省が設置する「ガーデンツーリズム登録制度」へ申請し、国による審査会を経て、2026 年３月、本計画の登録が決定しました。

今後は、国による登録計画の国内外へのPRに加え、本協議会においても、新たな歴史ファン層の獲得などを目指し、サムライガーデンを活用した情報発信や周遊促進に取り組んでいきます。



愛知サムライガーデンフォトコンテスト 2025
一般部門最優秀賞受賞作品

展開分野Ⅱ　PR・プロモーション

A. 高付加価値化の推進

①ターゲットを意識した情報発信プラットフォームの構築・選択・運用

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツの内容等に応じ、「趣味嗜好マーケティング」に基づいた広告等の支援を実施。

≪実績≫
支援対象：３件
① (株) 宿福：食の多様性対応＆ベジタリアン・ヴィーガンメニュー開発の研修、ベジタリアン・ヴィーガンメニューの情報発信（日本素食交流會、Vegan Japan、HappyCow）
② (株) ブルーチップファーム：インフルエンサーを活用したタイアップ企画（YouTube 動画１本（視聴：18,643 回）、Facebook 投稿２回（いいね数：849 回））、海外向け OTA への掲載支援（Klook）
③ (株) 岩田三宝製作所：モニター体験会の開催（５社）、海外向け OTA への掲載支援（Discover Nagoya Tours／Viator／Trip advisor）、商品ＰＲ動画の制作

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ 首都圏・関西圏等において、「ジブリパークのある愛知」をイメージした観光動画をデジタルサイネージにて放映。

≪実績≫
放映場所：映画館、駅など 15 か所
放映期間：各場所2～5週間



ロゴマーク

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、映像制作者等を対象に県内ロケ地等を紹介する Web サイトを運営し、ロケーションの誘致を実施。

≪実績≫
特集ページの作成：１件（「君が最後に遺した歌」）、サイトアクセス数：85,535

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課)

・ 市町村・事業者等と連携して、観光物産展を開催し、首都圏・関西圏在住者に向けて、本県の物産・観光の魅力を発信。

≪実績≫
（首都圏）
開催日：2026 年１月 24 日～25 日、会場：クイーンズスクエア横浜、来場者数：約 33,000 人
（関西圏）
開催日：2025 年８月９日～10 日、会場：ディーズスクエア（大阪市）、
来場者数：約 70,000 人

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の初回放送にあわせ、パブリックビューイングと番組出演者によるトークショーを開催。

≪実績≫
名　称：大河ドラマ「豊臣兄弟！」グランドプレミア in 愛知・名古屋
日　程：2026 年１月４日
場　所：愛知県芸術劇場大ホール
参加者：1,400 名　※事前公募による抽選
申込人数：39,041 人（応募倍率：約 28 倍）

・ 歴史ファン層をターゲットとした Web・SNS 広告や県内周遊の出発地・到着地となる鉄道駅等での交通広告を実施。

≪実績≫
Yahoo!ディスプレイ広告　実施期間：2026 年 1 月 24 日～25 日
JR東海車内広告（東海道本線、中央本線、関西本線、武豊線）
雑誌「名鉄 Wind」

【海外観光レップ】（国際観光コンベンション課）

・ 観光レップ事業者（設置国：米国、台湾）による旅行会社、メディアへの情報発信。

≪実績≫
アメリカ
　セールスコール実施：42 社、旅行博・商談会への出展参加：２回
台湾
　セールスコール実施：12 社、ニュースリリース配信：７回

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】（国際観光コンベンション課）

・ アジア・アジアパラ競技大会開催期間前後の誘客を見据え、WBM（世界放送者会議）、WPB（世界報道会議）に参加する報道関係者等や、観光関係施設等に配付する多言語観光パンフレットを制作。

【医療ツーリズム推進】（医務課）

・ 医療ツーリズム推進に向けた具体的な取組について協議するため、あいち医療ツーリズム推進協議会を実施。また、県内の医療機関の取組状況等を紹介した Web サイト「愛知の医療ツーリズムナビ」において情報発信。

②運輸機関・旅行会社・OTA など送客主体と連携した PR・プロモーション

【愛知観光プラットフォーム推進】（観光振興課） －再掲－

・ 高速道路・航空・鉄道・バス事業者、旅行会社等と連携し、本県の観光コンテンツを組み込んだ商品の PR・プロモーションを実施。

≪実績≫
NEXCO 中日本はじめ 10 事業者以上との連携

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】（国際観光コンベンション課） －再掲－

・ 海外個人旅行者向けに造成した体験型コンテンツを海外 OTA に掲載することにより、販売を支援。また、記事掲載による PR 及び、口コミによる波及効果を目的とし、在日外国人を対象としたモニターツアーや、インフルエンサーを活用した PR を実施。

≪実績≫
掲載したコンテンツ：５コンテンツ
記事掲載：アジア向け１回、欧米豪向け１回
モニターツアー：２回実施
インフルエンサー招聘による情報発信：２回

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】（国際観光コンベンション課） －再掲－

・ アジア・アジアパラ競技大会開催期間前後の誘客を見据え、東アジア・東南アジア7市場（台湾、香港、韓国、タイ、ベトナム、シンガポール、フィリピン）をターゲットとして、現地での利用率が高い OTA と連携したプロモーションを実施。

≪実績≫
OTA と連携し開設した特設ページの閲覧数：833,768 回

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、高速道路事業者と連携してドライブマップを作成し、周遊を促進。

・ 鉄道会社と連携し、広く県民が参加できる街道ウォーキングイベントを実施。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 30 日
参加者数:鳴海八幡宮 127 名、有松・鳴海絞会館 105 名

・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、JR 名古屋駅コンコースエリアにインフォメーションセンターを設置。

≪実績≫
期間:2026 年 2 月 12 日～3 月 31 日、各日午前 10 時から午後 8 時まで開設

【TOPICS ❸】大河ドラマ「豊臣兄弟！」を活用した PR

本県では、「あいちの歴史観光推進協議会」において、2026 年1月に放送を開始した大河ドラマ「豊臣兄弟！」を活用し、あいちの歴史観光を全国に広くPRすることで、観光誘客の拡大と周遊観光の促進を図っています。

2025 年度においては、大河ドラマの初回放送に合わせてパブリックビューイングを開催したほか、県内歴史観光スポットへの車での周遊観光を促進するための「ドライブマップ」の作成や、滋賀県や奈良県と連携した広域周遊企画「愛知・滋賀・奈良 秀長・秀吉 夢の軌跡スタンプラリー」の開催、県外観光客やビジネス客の玄関口である JR 名古屋駅中央コンコースへの「インフォメーションセンター」の設置等の施策により、あいちの歴史観光の魅力を幅広く PR しました。



ドライブマップ


インフォメーションセンター

【地域プロモーション(展示会産業振興基金 官民連携組織運営)】(国際展示場室)

・ 鉄道会社及び主催者と連携し、鉄道による来場促進や催事及び Aichi Sky Expo の認知向上を目的とした広告を駅構内や車内に掲出。

≪実績≫
掲出回数: 5 回

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

・ 航空会社と連携したキャラバン隊の派遣やイベントなどを実施。

③商談会等の PR・プロモーション機会の提供

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談や関西圏での現地商談の場を提供。

≪実績≫
オンライン商談会
開催日:2025 年 11 月 25 日～26 日
参加旅行会社:延べ 38 社、愛知県側参加団体:延べ 49 団体
関西圏での現地商談会
開催日:2026 年 2 月 5 日
参加旅行会社:11 社、愛知県側参加団体:16 団体

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

・ アウトドアファンを対象にしたイベント「DESTINATION AICHI」を開催することにより、県内の市町村・観光協会・事業者等に PR・プロモーションの機会を提供。

≪実績≫
開催日:2025 年 11 月 15 日～16 日、会場:Aichi Sky Expo
来場者数:52,000 人(２日間)
出展事業者数:(一般)42 者、(キッチンカー) ２者

【日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課)

・ 主として、2023 年に本県で開催した日台観光サミットの関係者や、2024 年に開催した商談会参加者を対象に、台北市にて現地旅行会社との商談会・交流会の場を提供。

≪実績≫
場所:台北市(台湾)
開催日:2025 年９月２日
参加者:日本側 18 社、台湾側 70 社
アンケート回収数:日本側 14 名、台湾側 62 名

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 国内ランドオペレーターと県内観光事業者の商談会を東京・愛知で各 1 回開催し、具体的な旅行商品造成を促進。

≪実績≫
(東京)
開催日:2025 年８月５日
参加者:ランドオペレーター13 社、県内事業者 23 者
(愛知)
開催日:2025 年８月８日
参加者:ランドオペレーター11 社、県内事業者 30 者

・ 中国、香港、韓国の旅行会社と県内観光事業者を対象としたオンライン商談会を実施し、ビジネスマッチングの機会を設けることで旅行商品造成を促進。

≪実績≫
(韓国)
開催日:2026 年２月４日
参加者:海外旅行会社５社、県内事業者８者
(香港)
開催日:2026 年２月５日
参加者:海外旅行会社５社、県内事業者８者
(中国)
開催日:2026 年２月６日
参加者:海外旅行会社５社、県内事業者６者

④大規模イベント・プロジェクトにあわせた PR・プロモーション

【国際博覧会出展参加】(観光振興課)

・ 大阪・関西万博に出展し、愛知万博の理念継承、アジア・アジアパラ競技大会のPR、愛知・名古屋の魅力発信を目的として、ステージイベント等を実施。

≪実績≫
2025 年８月 22 日
EXPO ホール「シャインハット」 約 1,900 人
2025 年８月 22 日～24 日
EXPO メッセ「WASSE ワッセ」 約 70,048 人

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) −再掲−

・ アジア・アジアパラ競技大会開催に向け、2025 年度に実施される WBM(世界放送者会議)及び WPB(世界報道会議)参加のために集まる報道関係者等を対象にエクスカーションを実施。

≪実績≫
WBM(世界放送者会議):2025 年 10 月 9 日
WPB(世界報道会議):2025 年 10 月 11 日
参加者数:78 名

【新規事業ツーリズム EXPO ジャパン推進】(国際観光コンベンション課・観光振興課)

・ 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」に、愛知県ブースや中部北陸 9 県による共同ブースを出展するとともに、特設ステージを設置し、PR を実施。

≪実績≫
会　期:2025 年 9 月 25 日～28 日
会　場:愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo
来場者数:127,677 人

【国際芸術祭「あいち 2025」の開催】(国際芸術祭推進室)

・ 国際芸術祭「あいち 2025」を 9 月 13 日から 11 月 30 日まで愛知芸術文化センター、愛知県陶磁美術館、瀬戸市のまちなかを会場として開催。
・ 現代美術の国際展を基軸として、パフォーミングアーツ公演、ラーニング・プログラム、地元芸術大学や芸術団体との連携事業を実施。

【愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」の開催】(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

・ 2025 年 3 月 25 日から 2025 年 9 月 25 日まで、愛・地球博記念公園において、愛知万博 20 周年記念事業「愛・地球博 20 祭」を開催。愛知万博の理念や成果を継承するとともに、愛知の魅力を発信。

≪実績≫
・公式ホームページ及び SNS による情報発信
(フォロワー数　Instagram:8,955 人、X:7,970 人、Facebook:443 人(2025.9.25 時点))
・公式 YouTube チャンネル「AICHI LOVE THE EARTH」の配信
(チャンネル登録者数:1,790 人(2025.9.25 時点))
・応援サポーター制度(登録者数:297 人(2025.9.25 時点))
・ラッピング車両の運行や交通広告による PR
・リニモ・セントレア連携事業の実施
・県内市町村 PR キャラバン・パネル展等、県内各所において広報活動の実施
(PR キャラバン:54 市町村、パネル展:39 市町村)
・公式グッズの販売

⑤航空路線・外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

・ 名古屋市等と連携し、「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」のクルーズコーナーに名古屋港ブースを出展することにより、名古屋港の効果的な PR を実施。

【航空需要の拡大に向けた取組】(航空空港課)

・ 海外の航空会社に対するエアポートセールスの実施。
・ LCC を含む重点路線のアウトバウンドの促進。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【文化財保存事業費補助金】(文化財室)

・ 国・県指定・県登録文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費等の一部を所有者に補助。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【文化芸術継承】(文化芸術課)

・ 「あいち伝統芸能はじめてフェス 2025」及び「あいち伝統芸能はじめて BOOTH」開催。

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

・ 情報誌・SNS 等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組の推進。

【離島の振興】(地域振興室)

・ SNS 等を活用した離島の魅力発信及び関係人口と連携した地域課題解決の取組の推進。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課)

・ 中部５県１市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

【国際観光振興機構(JNTO)負担金】(国際観光コンベンション課)

・ 海外プロモーション事業を実施する JNTO からノウハウ等を享受。

【クレア海外事務所を通じた情報発信の支援】(国際課)

・ 海外各都市における各種イベントにおいて、クレア海外事務所を通じて本県の観光パンフレット等を配布し、本県の PR を実施。

≪実績≫
配布海外事務所: 7 件

C. デジタル化・DX の推進

①スマートフォン上での PR・プロモーション

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

≪実績≫
Aichi Now ページビュー数(2025 年４月１日～2026 年３月 31 日)
(言語、ページビュー数)
日本語 15,237,731、英語 606,712、中国語(繁体字)355,556、中国語(簡体字)105,107、韓国語 86,341、タイ語 68,016
合計 16,459,463
各 SNS フォロワー数(2026 年３月 31 日時点)
(種類、配信言語、フォロワー数)
Facebook　日本語 15,093、繁体字 54,823、英語 218,513
X(旧 Twitter)日本語 11,025、繁体字 270、英語 554
Weibo　簡体字 11,467
WeChat　簡体字 2,003
LINE　日本語 15,180
Instagram　日本語 32,310、英語 3,350

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ 国際芸術祭「あいち 2025」と県内観光スポットを巡るモニターツアーを実施し、SNS 等での情報発信の促進。

・ 県民等による情報発信を促すため、ジブリパーク来園前後に訪れてほしい本県のお勧め観光スポット、体験、グルメなどを Instagram で投稿してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

≪実績≫
ハッシュタグキャンペーン総投稿件数:729 件

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

・ 在留ムスリム等により、愛知県内のハラル対応が優れた観光施設や飲食店等を、県内や母国に住むムスリムに向けて SNS で紹介してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

≪実績≫
キャンペーン投稿数:95 件

②デジタルを活用して最適化した PR・プロモーション

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等を把握し、それに近しい人々へ本県の観光に係るウェブ広告を配信。

③デジタルを活用したリアルタイムの PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 大型ビジョンでの観光情報等の放映。

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、時期や状況に応じてスポットの情報を更新するとともに、コラムや特集を作成して発信。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による PR・プロモーション能力の向上

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

≪実績≫
2025 年 4 月 11 日ガイダンス、11 月 27 日中間報告会、2026 年 1 月 27 日最終報告会

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、県内フィルムコミッション相互の情報共有を図るとともに、ロケの誘致や支援に係る能力向上を促進するため、意見交換会を開催。

②異業種・学術機関との連携による PR・プロモーション能力の向上

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

展開分野Ⅲ　受入環境の整備

A. 高付加価値化の推進

①多様な宿泊ニーズへの対応

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) −再掲−

・「食」を含んだ高付加価値な宿泊コンテンツの造成・販売を支援することにより、多様な宿泊ニーズに対応。

≪実績≫
対象:
① （株）宿福：渥美半島の新鮮な食材を使った「ベジ・ヴィーガン懐石」
② （株）ブルーチップファーム：「常滑ワイン」と「知多牛ステーキ」のペアリング
③ （株）岩田三宝製作所：「どて煮」や「名古屋かまぼこ」を含む和食

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

・ 海外富裕層旅行者等に宿泊場所として選ばれるよう、さらなる高級ホテルの立地促進に向け、名古屋市と連携し、愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の補助事業認定申請の受付を再開。
・ 開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付。

≪実績≫
交付件数: 2 件（TIAD, AUTOGRAPH COLLECTION、エスパシオ ナゴヤキャッスル）

【TOPICS ❹】高級ホテルの立地促進

愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度における第 3 号の事業認定ホテルである「エスパシオ ナゴヤキャッスル」が 2025 年に開業しました。名古屋城を望む立地に位置し、天守閣をモチーフとした外観を採用するとともに、全 100 室の客室や国内最大級の宴会場を備え、国内外からの多くの来訪者の受け入れが見込まれます。

こうした高級ホテルの集積は、海外富裕層旅行者の誘致や、各国の首脳やVIPが集うハイレベルな国際会議の誘致を後押しし、愛知・名古屋の国際的な知名度や都市としてのプレゼンス向上につながることが期待されます。また、2027 年に愛知・名古屋で開催される第 60 回アジア開発銀行年次総会をはじめ、今後も世界中から多くの来訪者を迎える機会が見込まれる中、国内外の来訪者に対応する受入環境の充実は、地域のさらなる成長・発展を後押しするものです。



「エスパシオ　ナゴヤキャッスル」外観

②「新たな旅のスタイル」への対応

【ワーケーション促進】(観光振興課)

・ ワーケーション客の受け入れを考える地域に対し、プロモーション面の支援を実施。

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課)

・ 「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)の広告・PR 面での支援を通じて、出張客の「ついで観光」需要の創出と取り込みを促進。

≪実績≫
参画施設数:県内 36 施設、販売数:1,543 枚、利用者数:17,614 人

【離島のワーケーション等推進】(地域振興室)

・ 離島におけるワーケーション・スタディケーションの推進。

B. 持続可能性の追求

①旅行者の属性、障がいの有無、言語、宗教・信条等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(コンサルタント派遣事業)を実施。

≪実績≫
コンサルタント派遣先:飲食店事業者 7 者

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成することにより、観光施設における多言語表記の整備を支援。

≪実績≫
実施対象:7 施設 9 資料 40 項目×3 言語(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語もしくはタイ語)

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 在留ムスリム等により、愛知県内のハラル対応が優れた観光施設や飲食店等を、県内や母国に住むムスリムに向けて SNS で紹介してもらうハッシュタグキャンペーンを実施(詳細 P21)。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

・ 利用登録した観光関係事業者(宿泊施設、小売店、飲食店、観光案内所等)に対して、コールセンターを活用した多言語通訳・翻訳サービスを実施。

≪実績≫
利用状況
電話・テレビ電話サービス:36 件(登録事業者:32 件、外国人旅行者及び在住者:4 件)
翻訳サービス:349 件

【愛知県宿泊施設バリアフリー整備推進】(アジア・アジアパラ競技大会推進局計画推進課)

・ 第 20 回アジア競技大会及び第 5 回アジアパラ競技大会を見据え、県内の宿泊施設において障害のある方や高齢の方等、誰もが安全で快適に利用できる宿泊施設の環境整備を支援。

≪実績≫
交付件数:30 件

②地域資源の保全・活用

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 愛知県内で発酵食を活用したメニューを提供する飲食店を対象に、「あいち発酵食の館」登録制度を創設。
・ 発酵をテーマにした体験型コンテンツの造成により、愛知県の「発酵食文化」の保全・活用を促進。

【本庁舎公開イベント】(財産管理課)

・ 本庁舎公開イベントの実施。

【伝統芸能の保存、継承】(文化芸術課)

・ 「あいち伝統芸能はじめてフェス 2025」及び「あいち伝統芸能はじめて BOOTH」開催。

③交通インフラの整備・交通アクセスの充実

【総合的なネットワークの充実】(リニア事業推進室)

・ 東海道新幹線ひかり・こだま停車駅の利活用に向けた取組推進。

【リニア中央新幹線の整備促進】(リニア事業推進室)

・ 期成同盟会(全国・県)を通じた要望、調整、啓発活動等の実施。

【中部国際空港の第二滑走路の整備をはじめとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等。

【地域交通活性化】(交通対策課)

・ 新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施。

【広域幹線道路の整備促進】(道路建設課)

・ 観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、三遠南信自動車道等において整備の推進を国へ要望。

【名古屋駅から圏域内主要都市への「40 分交通圏」の拡大】(リニア事業推進室・都市整備課)

・ 鉄道ネットワークの充実強化に関する方策等の具体化検討。
・ 知立駅付近連続立体交差事業の推進。
・ 名鉄三河線の複線化。

④安全・安心な旅行環境の整備

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

・ 観光施設の受入体制の整備を促進するため、市町村による施設の設置・改修に対する補助事業を実施。

≪実績≫
観光施設の設置及び改修　補助件数:11 件、補助額:62,919 千円

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

・ 愛知県災害多言語支援センターの設置訓練や、市町村職員及び市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及び FAX では５ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは４ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【新規事業あいち防災アクションプランの推進】(防災危機管理課)

・ あいち防災アクションプランに基づく各施策の実施。

⑤オーバーツーリズム(観光公害)への対応

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

≪実績≫
キャンペーン参画施設数:104 件(2025 年度末時点)
宿泊予約サイトを通じて「キャンペーンプラン」を利用した人数:約 50,000 人(2025 年４月～2026 年３月)

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用したバリアフリー対応、多言語対応

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」にて、バリアフリー情報を発信。
・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信(詳細 P20)。

②デジタルを活用した移動や消費の円滑化

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

・ 愛知県観光協会と協力して、二次元コードを活用した「あいち・なごや周遊観光パスポート」を造成し、1 台のスマートフォン(または 1 枚の紙チケット)で美術館・博物館等に入館できる環境を整備。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による受入環境の整備促進

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティへの対応を支援するセミナーを開催。

≪実績≫
セミナー名:「なごやめしを世界へ！ムスリム対応スタートセミナー」
開催日:2025 年 10 月 22 日
参加者:愛知県内及び名古屋市内の「なごやめし」を提供する飲食店、宿泊施設、小売店、観光関連施設等(54 名)

展開分野Ⅳ　観光地経営体制の強化

A. 高付加価値化の推進

①観光コンテンツ造成や PR・プロモーションの能力強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データ及び評価情報等のデータを活用して、観光コンテンツ造成や PR・プロモーション能力の強化を支援(詳細 P13)。

②観光施設等における受入力強化の支援

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(コンサルタント派遣事業)を実施(詳細 P23)。

③「ツウ」な人でも満足できる観光ガイドの育成及びガイド団体との連携強化

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課)

- 「あいちウィーク」(11 月 21 日～27 日)期間中に、県内で活躍するガイド及びガイド団体と連携し、県内各地・施設でガイドツアーやガイドプログラムを実施。

≪実績≫
ツアー数:39 ツアー
参加人数:4,871 名

【産業あないびと育成】(観光振興課)

- 地域で活躍する観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

≪実績≫
産業観光あないびと育成研修会:2025 年 12 月 16 日、参加者:21 団体・42 名
テーマ:「八丁味噌と岡崎城下町の 400 年及び地域ブランドの在り方」
講師:浅井　信太郎氏((株)まるや八丁味噌　代表取締役)

④県民による県内観光の促進

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課) -再掲-

- 「あいちウィーク」期間中に、主として県民を対象にした、県内各地・施設でのガイドツアーやガイドプログラムを実施。

【全国通訳案内士指導】(国際観光コンベンション課)

- 外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする全国通訳案内士の申請登録等を実施。

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

- 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力を依頼。
- 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を依頼。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な観光地経営体制の確立

【市町村・地域観光協会等の観光地経営体制の強化】(観光振興課)

- 市町村・地域観光協会等が策定する観光振興計画等への助言等。

≪実績≫
市町村観光担当課長及び地域観光協会専務理事等会議参加団体数:59

【日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の実践】(観光振興課)

・ 観光客と地域住民の双方が満足できる持続可能な観光を実現するため、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」を実践。

≪実績≫
2025 年 12 月に「日本版持続可能な観光ガイドラインロゴマーク」を取得

②観光関連産業の労働生産性の向上と人材確保

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課)

・ 宿泊事業者の経営者向けに、2024 年度に実施した業務改善の成果の現場での活用に向けたセミナー及びワークショップを実施。

≪実績≫
参加者数:32 名

③観光需要の平準化

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施(詳細 P25)。

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

・ 平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)を広告・PR 面で支援。

【あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進】(県民総務課)

・ 「あいちウィーク」におけるイベントの企画・運営。
・ PR 事業の企画・実施。
・ あいちウィークにおける公の施設の使用料等の減免。

【休暇を取得しやすい職場環境づくり】(労働福祉課)

・ 勤務間インターバル制度の普及促進。
・ 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の推進。

≪実績≫
認定件数:743(2025 年度末時点)

【家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり】(教育委員会)

・ ラーケーションを導入する学校におけるモデル事業の実施や校務支援員の配置(小・中・義務教育学校 938 校、市立高等学校 1 校、市立特別支援学校 4 校、市立高等専修学校 1 校、県立高等学校 147 校、附属中学校 4 校、夜間中学 1 校、県立特別支援学校 32 校)。

【全国知事会を通じた「休み方改革」の推進】(地方創生課)

・ 「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進。

④地域の観光関連産業をリードする人材の育成・確保

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するとともに、優れた企画を選定・表彰することにより、観光人材の育成を推進。

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(高等学校教育課・あいちの学び推進課)

- 県立福江高校の観光ビジネスコースで、観光や地域振興に関する教育を推進。
- 県立足助高校への観光科の新設に係る施設設備の整備。

【県立足助高校学校運営協議会】(観光振興課)

- 顧問、アドバイザーとして参画し、同校の観光教育への助言等を実施。

【TOPICS ❺】「ジャパン・ツーリズム・アワード」観光庁長官賞受賞

愛知県立足助高等学校観光ビジネスコースの取組が評価され、日本政府観光局(JNTO)、公益社団法人日本観光振興協会及び一般社団法人日本旅行業協会(JATA)が主催する「第9回ジャパン・ツーリズム・アワード」において観光庁長官賞を受賞し、2025 年9月25日に Aichi Sky Expo で開催されたツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸の会場で表彰されました。

受賞した取組は、「『高校生トラベル®』ブランドを核とした関係人口創出と観光産業人材育成、持続可能な観光推進モデル」です。高校生が地域資源を活用した観光商品開発やガイド等を実践する観光教育プログラムであり、地域の観光振興や観光人材育成への貢献が評価されました。また、実践的で多様性のあるプログラムや地域内外との連携が、高校レベルの観光教育の模範となる点も評価されました。



表彰式の様子


『高校生トラベル®』の取組

※「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、ツーリズムの発展に貢献する優れた取組を表彰する制度であり、観光庁長官賞は国土交通大臣賞、経済産業大臣賞に次ぐ賞です。

C. デジタル化・DX の推進

①地域における観光デジタル人材の育成・活用

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援(詳細 P21)。

②人流・消費データ等のデジタルデータを活用したマーケティング環境の整備

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村・地域観光協会の職員に対し、観光動態データを閲覧できる環境整備を実施。

≪実績≫
観光動態データ閲覧サービス参画団体数:40 団体

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村や地域観光協会、事業者を対象に、ジブリパークチケット購入者の属性等のデータや、ジブリパーク来園者の位置情報データ等を提供。

③観光 DX の推進による観光関連産業の労働生産性の向上

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) -再掲-

- 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、観光 DX を活用した業務改善に向けた助言を実施。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光地経営体制の強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等の開催(詳細 P21)。

②異業種・学術機関との連携による観光地経営体制の強化

【ワーケーション促進】(観光振興課) -再掲-

- 宿泊事業者と、省力化等に向けた支援や人材紹介を行う事業者等とのマッチングイベントの開催。

≪実績≫
マッチングイベント参加社数:11 社

展開分野Ⅴ　MICE の誘致・開催に向けた取組強化

A. 高付加価値化の推進

①テクニカルビジット・ユニークベニュー等の開発・活用促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

・ テクニカルビジットメニューの拡充。

≪実績≫
新規受入先：5 件

・ 「愛知・名古屋ユニークベニューガイド」を更新・発信。

≪実績≫
掲載施設数：27 件、言語：日本語、英語（併記）

②高級ホテルなどの充実

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課) －再掲－

・ さらなる高級ホテルの立地促進に向け、名古屋市と連携し、愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の補助事業認定申請の受付を再開。
・ 開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付(詳細 P22)。

③開催支援メニューの充実

【催事開催支援（展示会産業振興基金　官民連携組織運営）】(国際展示場室)

・ Aichi Sky Expo への国際的な催事や全国的な産業見本市等の誘致を通じ、展示会産業の活性化を図ることを目的として、主催者が催事の開催に要する経費の一部を補助。

≪実績≫
Aichi Sky Expo 利用促進補助金：9 件

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) －再掲－

・ 大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、アトラクションの派遣やギブアウェイの提供などを実施。大規模な企業ミーティング・インセンティブ旅行に対し、貸切バスを提供。

≪実績≫
アトラクション支援：12 件、ギブアウェイ提供支援：10 件、貸切バスの提供：1 件

④大規模イベント・プロジェクト等を活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) －再掲－

・ 商談会、見本市において、本県での大規模 MICE の開催実績とともに宿泊等の優れた都市機能を PR(詳細 P32、33)。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な MICE に関連する国際認証の取得等に向けた取組の促進と主催者等への取組の PR

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) －再掲－

・ 参加する見本市、商談会やニュースレター等において、県内 MICE 施設のサステナビリティに向けた取組を発信。

≪実績≫
MICE 見本市、商談会
MICE 見本市：１回（７件）、商談会：３回（14 件）、セールスコール：１回（２件）
ニュースレターの配信
配信回数：１回（２件）、配信先：1,051 件、言語：日本語、英語
発信内容：県内ホテル及び MICE 施設におけるサステナビリティに関する取組内容を紹介
PR 動画 配信施設数：３施設

【施設のサステナビリティ（持続可能性）に対する取組の情報発信】（国際観光コンベンション課）

・ MICE 主催者等に対し、本県が持続可能性の観点から優れた開催地であることをPRするため、Aichi Now や台湾レップニュースレター等を活用し、MICE 施設や主要ホテルのサステナビリティに向けた取組の情報を発信。

≪実績≫
発信件数：全 40 件（愛知・名古屋 MICE 推進協議会での発信を含む）
Aichi Now 発信回数：１回（６件）
言語：日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語
台湾レップニュースレター 発信回数：５回、言語：中国語（繁体字）
SNS（JNTO 公式アカウント） 発信回数：１回

②日本政府観光局（JNTO）との連携による MICE 専門人材の育成・活用等

【JNTO 研修員派遣（国際会議等誘致推進）】（国際観光コンベンション課）

・ JNTO ロンドン事務所への職員研修派遣により、MICE 専門人材を育成。

③県民・市町村等に向けた MICE 開催効果の理解促進

【MICE 取組状況を把握する調査の実施】（国際観光コンベンション課）

・ 県内市町村の MICE 取組状況を把握するため、市町村に対して MICE 施策に関するアンケートを実施。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】（国際観光コンベンション課）－再掲－

・ 営業ツールのデジタル化を図るため、愛知・名古屋の MICE 開催地としてのポテンシャルを効果的に PR するための動画を作成。

D. オープンイノベーションの促進

①経済界・学術機関との連携による国際会議と展示会・見本市の誘致

【アジア開発銀行年次総会開催支援】（中小企業金融課）

・ 2027 年の第 60 回アジア開発銀行年次総会の開催地が愛知・名古屋に決定したことを受け、名古屋市及び経済界と連携して支援実行委員会を設立し、その成功に向けた支援活動を実施。

≪実績≫
名称：第 60 回アジア開発銀行年次総会愛知・名古屋支援実行委員会
設立：2025 年７月 18 日
会長：愛知県知事
会長代行：名古屋市長
副会長：名古屋商工会議所会頭、（一社）中部経済連合会会長、（一社）名古屋銀行協会会長
委員：愛知県副知事、名古屋市副市長、中部経済同友会代表幹事、愛知県経営者協会会長、（一社）愛知県観光協会会長、（公財）名古屋観光コンベンションビューロー理事長

【AXIA　EXPO 開催】(国際展示場室・産業立地通商課)

- (株)日刊工業新聞社と連携して、2024 年度に立ち上げた「AXIA EXPO」を継続開催し、開催実績を積むことで、展示会会場としての Aichi Sky Expo のポテンシャルを周知し、他の産業展示会の誘致を促進。
- 「AXIA EXPO 2025」では、カーボンニュートラル社会の実現をテーマとし、国内外の企業による先端技術の展示や商談を実施。また、アジアの企業や政府機関が出展する「アジアパビリオン」や、県内の中小企業・スタートアップなどが出展する「愛知県パビリオン」を新たに設置。

≪実績≫
開催日:2025 年 6 月 4 日～6 日、出展:250 社・団体※、来場者:13,084 名※
※併催展の出展・来場者を含む。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- (一社) 日本コングレス・コンベンションビューローが JNTO と共催する、国内最大規模の MICE 見本市「国際 MICE エキスポ(IME2026)」に参加。

≪実績≫
開催日:2026 年 2 月 12 日、会場:東京国際フォーラム　ホール B5／B7、商談件数:27 件

- JNTO が主催する、海外の訪日旅行取扱旅行会社等と日本全国の観光関係事業者が一堂に会する商談会「VISIT JAPAN トラベル＆MICE マート 2025」に出展。

≪実績≫
開催期間:2025 年 9 月 25 日～27 日
会場:Aichi Sky Expo、商談件数:21 件、JNTO 海外事務所相談会:2件

【新規事業 ツーリズム EXPO ジャパン推進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の成功に向けて、開催地連絡協議会の活動を通じ、主催者の支援・協力を実施。

≪実績≫
会期:2025 年 9 月 25 日～28 日
会場:Aichi Sky Expo、来場者数:127,677 名、出展数:1,350 社・団体

【TOPICS ❻】「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の開催

本県では、愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)を活用した本地域における展示会産業の振興に取り組んでいます。2025 年には、世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」の本県初開催が Aichi Sky Expo で実現しました。

開催にあたっては、地域一丸となった支援体制を構築し、主催者を支援するとともに、地域を挙げた大規模出展等を通じて、当地域の魅力を発信し、観光誘客や広域の周遊観光を促進しました。



Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)



会場の様子

②経済界との連携による会議と報奨・研修旅行の誘致

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 海外企業からのニーズが高い複数都市を巡るインセンティブツアーに対応するため、東京都・(公財)東京観光財団と連携し、海外のミーティングプランナー等を対象としたイベントを開催。

  ≪実績≫
  開催日:2025 年 10 月 7 日
  会場:ラスベガス市内(フォーシーズンズ・ホテル)
  参加者数:ミーティングプランナー・企業 MICE 担当者等 38 名

- (一社)中央日本総合観光機構が実施するビジネスイベント推進事業に参画。

  ≪実績≫
  開催日:2026 年 2 月 19 日
  会場:JR ゲートタワーカンファレンス、商談件数:2 件

- インセンティブ旅行取扱実績がある海外旅行会社等を対象とした商談会を開催するとともに、セールスコールを実施し、誘致プロモーションを実施。

  ≪実績≫
  日本側参加者数:12 社(14 名)
  商談会開催日:2026 年 1 月 27 日、会場:台北市内
  参加者数:台湾側旅行会社 51 社(74 名)及び MICE 関係メディア 2 社(2 名)
  セールスコール実施日:2026 年 1 月 26 日、28 日、セールスコール先:8 社

【国内キーパーソン対象誘致活動】(国際観光コンベンション課)

- 国際会議のキーパーソンが所属する、国内の学会本部・本社等を訪問し、会議の開催情報などについてヒアリングを行うとともに、本県での開催に向けた働きかけを行い、キーパーソンとのネットワークを構築。

  ≪実績≫
  ヒアリング実施先:8 者

3　2026 年度の主要な観光振興施策

展開分野Ⅰ　地域資源の観光コンテンツ化

A. 高付加価値化の推進

①資源の持ち手に対する観光コンテンツ化の理解促進

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

・ 協議会構成員、関係者及び一般来場者へ向けて、愛知を「発酵食文化」の聖地としてブランディングするための機運醸成イベントを開催。

②「ツウ」な人でも満足できる観光コンテンツの造成

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

・ 県内観光関連事業者を対象に、スタジオジブリ作品のファンが満足できる観光コンテンツの造成を支援。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

・ 市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

【武将観光情報発信】(観光振興課)

・ 武将観光資源に恵まれた本県の特性を生かし、全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催。

【歴史観光推進】(観光振興課)

・ 三英傑をはじめ多くの武将たちの活躍の舞台となった歴史の現場において、著名な有識者によるガイドウォークを行う体験型イベントを開催。

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課)

・ 県内で造成された観光コンテンツを確実な販売につなげるため、県内のインバウンド向け体験型観光コンテンツの催行事業者に対するプロモーション支援を実施。

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) －再掲－

・ 発酵食文化を観光資源とし、インバウンド誘致に取り組む事業者（蔵元等）を支援。

③テーマ性の高い周遊観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー】(観光振興課)

・ 産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、岐阜県との連携によるデジタルスタンプラリー「あいちとぎふ　見にトリップスタンプラリー」を開催。

【歴史観光推進】(観光振興課) －再掲－

・ 歴史ファン層をターゲットにしたデジタルスタンプラリーを開催。
・ 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、滋賀県、奈良県と連携し、県域をまたいだ広域周遊企画を実施。

④魅力ある観光土産品の開発

【愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会】(観光振興課)

・ 愛知県観光土産品協会・愛知県観光土産品公正取引協議会主催の愛知県観光土産品推奨並びに認定審査会での知事賞の交付。

【愛知のふるさと食品コンテスト】(食育消費流通課)

・ 愛知県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的に、愛知のふるさと食品コンテストを開催。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「庭園」をテーマにしたフォトコンテスト開催にあたり、庭園の磨き上げを行い「映えスポット」を構築。

【花の王国あいちのPR】(園芸農産課)

・ 花と緑のイベント「あいち花マルシェ」の開催。

【食に関する観光の推進】(農業振興課・食育消費流通課)

・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広く PR することにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。
・ 「あいちの農林水産フェア」の開催。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

・ 市町村、観光協会等の地元関係者と連携して、地域資源を魅力ある観光コンテンツとして磨き上げ、特設サイト「旅ろっ！愛知」で情報発信と販売支援を実施。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタル上で稼働する観光コンテンツの造成

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

・ 「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求するためスマートフォンで遊ぶ体験型コンテンツを実施。

②デジタルベースドな人流データや評価情報等に基づく観光コンテンツの造成・改善

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

・ 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データを活用した観光コンテンツの造成・改善を支援。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「庭園」をテーマにしたフォトコンテストを開催。
・ フォトコンテスト参加者の属性や評価情報（口コミ等）を取得・分析することにより、次年度以降の施策改善に活用。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光コンテンツの造成能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

・ 観光まちづくりに関心のある県民等（観光関係者を含む。）を対象にしたグループワークを実施するとともに、優秀な企画についてはブラッシュアップを行い、商品化・販売につなげる。

【武将観光情報発信】(観光振興課) -再掲-

・ 「サムライ・ニンジャフェスティバル」において、これまで武将観光に関心がなかった層に訴求するため、スマートフォンで遊ぶ体験型コンテンツを実施。

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

【新規事業外国人旅行者周遊促進モデル実証】(国際観光コンベンション課)

・ モデル地域(半田市、西尾市、蒲郡市、常滑市)において、インバウンドの周遊促進に関する課題(予約不要や短時間で楽しめるコンテンツの造成等)を設定の上、スタートアップ等から課題に対する企画提案を募集し、実証事業として実施。

②異業種・学術機関との連携による観光コンテンツの造成、及びその能力の向上

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

・ 「庭園」をテーマにしたフォトコンテストの開催において、学術機関と連携し、PR・プロモーションを設計・改善。

展開分野Ⅱ　PR・プロモーション

A. 高付加価値化の推進

①ターゲットを意識した情報発信プラットフォームの構築・選択・運用

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) −再掲−

- 県内各地及び首都圏・関西圏において、「ジブリパークのある愛知」をイメージした観光動画をデジタルサイネージにて放映。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、映像制作者等を対象に県内ロケ地等を紹介するWebサイトを運営し、ロケーションの誘致を実施。

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課)

- 首都圏において「愛知の観光物産展」を開催し、本県の物産・観光の魅力を発信。
- 県内の観光コンテンツを首都圏・関西圏のメディアへ向けて情報発信。

【歴史観光推進】(観光振興課) −再掲−

- 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、豊臣人気の高い大阪において「あいちの歴史観光展 in 大阪」を開催し、豊臣家ゆかりの地である愛知県の情報発信を実施。
- 歴史ファン層をターゲットとした WEB・SNS 広告や県内周遊の出発地・到着地となる鉄道駅等での交通広告を実施。

②運輸機関・旅行会社・OTA など送客主体と連携した PR・プロモーション

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) −再掲−

- 高速道路・航空・鉄道・バス事業者、旅行会社等と連携し、本県の観光コンテンツを組み込んだ商品の PR・プロモーションを実施。

【外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課) −再掲−

- 県内で造成された観光コンテンツを確実な販売につなげるため、県内のインバウンド向け体験型観光コンテンツの催行事業者に対するプロモーション支援を実施。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- アジア・アジアパラ競技大会開催期間前後の誘客を見据え、東アジア・東南アジア８市場（中国、台湾、香港、韓国、タイ、ベトナム、シンガポール、フィリピン）をターゲットとして、現地での利用率が高い OTA と連携したプロモーションを実施。

【歴史観光推進】(観光振興課) −再掲−

- 大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送にあわせ、高速道路事業者と連携してドライブマップを作成し、周遊を促進。
- 鉄道会社と連携し、広く県民が参加できる街道ウォーキングイベントを実施。

【地域プロモーション（展示会産業振興基金　官民連携組織運営）】(国際展示場室)

- 鉄道会社及び主催者と連携し、鉄道による来場促進や催事及び Aichi Sky Expo の認知向上を目的とした広告を駅構内や車内に掲出。

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- 航空会社と連携したキャラバン隊の派遣やイベントなどを実施。

③商談会等の PR・プロモーション機会の提供

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課) -再掲-

・ 首都圏の旅行事業者等と県内観光関連事業者を対象に、首都圏において観光商談会・交流会の場を提供。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談や関西圏での現地商談の場を提供。

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

・ アウトドアファンを対象にしたイベント「DESTINATION AICHI」を開催することにより、県内の市町村・観光協会・事業者等に PR・プロモーションの機会を提供。

【日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課)

・ 主として、2023 年に本県で開催した日台観光サミットの関係者や、2024 年及び 2025 年に開催した商談会参加者を対象に、台北市にて現地旅行会社との商談会・交流会の場を提供。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 国内ランドオペレーターと県内観光事業者の商談会を東京・愛知で各 1 回開催し、具体的な旅行商品造成を促進。

④大規模イベント・プロジェクトにあわせた PR・プロモーション

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課・観光振興課) -再掲-

・ アジア・アジアパラ競技大会開催期間において、大会の関係者やメディア、観客を対象としたシティツアーを実施し、本県の魅力や観光情報等の発信を促進。
・ オープントップバスツアー及び県庁本庁舎でのデジタルアート投影の実施。
・ ナイトタイム観光コンテンツを統一的に発信する特設サイトの構築。

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

・ アジア・アジアパラ競技大会開催期間において、愛知の発酵食を活用した多彩な飲食メニューを提供する飲食フェアを開催。
・ アジア・アジアパラ競技大会開催期間において、メディアを対象としたファムツアーを実施し、本県の発酵食文化の魅力の発信を促進。

⑤航空路線・外航クルーズ船の誘致

【航空需要の拡大に向けた取組】(航空空港課)

・ 若者を中心としたアウトバウンドの促進。
・ 海外の航空会社に対するエアポートセールスの実施。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【文化芸術継承】(文化芸術課)

・ あいちの伝統芸能を体験できる「あいちの動(ムーブ)パーク」開催。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課)

・ 中部４県１市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

C. デジタル化・DX の推進

①スマートフォン上での PR・プロモーション

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ 県民等による情報発信を促すため、ジブリパーク来園前後に訪れてほしい本県の観光スポット、体験、グルメなどを Instagram で投稿してもらうハッシュタグキャンペーンを実施。

②デジタルを活用して最適化した PR・プロモーション

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等を把握し、それに近しい人々へ本県の観光に係るウェブ広告を配信。

【多様な背景を有する外国人旅行者の誘客促進】(国際観光コンベンション課)

・ ムスリム、ベジタリアン、ヴィーガン等の外国人旅行者向けガイドを制作し、マップから地図アプリへの接続等を促す構成にすることで、スマートフォン等と連携した情報発信を実施。

③デジタルを活用したリアルタイムの PR・プロモーション

【中部国際空港観光案内】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 大型ビジョンでの観光情報等の放映。

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、時期や状況に応じてスポットの情報を更新するとともに、コラムや特集を作成して発信。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による PR・プロモーション能力の向上

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課) -再掲-

・ 愛知県フィルムコミッション協議会事業として、県内フィルムコミッション相互の情報共有を図るとともに、ロケの誘致や支援に係る能力向上を促進するため、意見交換会を開催。

【新規事業外国人旅行者周遊促進モデル実証】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ モデル地域(半田市、西尾市、蒲郡市、常滑市)において、インバウンドの周遊促進に関する課題(中部国際空港の利用客に向けた情報発信等)を設定の上、スタートアップ等から課題に対する企画提案を募集し、実証事業として実施。

②異業種・学術機関との連携による PR・プロモーション能力の向上

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

展開分野Ⅲ　受入環境の整備

A. 高付加価値化の推進

①多様な宿泊ニーズへの対応

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- 愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の PR パンフレットを用いて制度を広く周知するとともに、ホテル事業者等への働きかけを行い、高級ホテルの立地を促進。
- 開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付。

②「新たな旅のスタイル」への対応

【ブレジャー促進（あいち・なごや周遊観光パスポート）】(観光振興課)

- 「あいち・なごや周遊観光パスポート」（愛知県観光協会発行）の広告・PR 面での支援を通じて、出張客の「ついで観光」需要の創出と取り込みを促進。

B. 持続可能性の追求

①旅行者の属性、障がいの有無、言語、宗教・信条等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者（飲食店等）を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業（コンサルタント派遣事業）を実施。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) －再掲－

- ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成することによって、観光施設における多言語表記の整備を支援。

【多様な背景を有する外国人旅行者の誘客促進】(国際観光コンベンション課) －再掲－

- ムスリム、ベジタリアン、ヴィーガン等の外国人旅行者向けガイドを制作し、多様な背景に基づく食の選択等に関わらず、旅行を楽しめる環境づくりを促進。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- 利用登録した観光関係事業者（宿泊施設、小売店、飲食店、観光案内所等）に対して、コールセンターを活用した多言語通訳・翻訳サービスを実施。

②地域資源の保全・活用

【愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) －再掲－

- 発酵をテーマにした体験型コンテンツの造成により、愛知県の「発酵食文化」の保全・活用を促進。

③交通インフラの整備・交通アクセスの充実

【総合的なネットワークの充実】(リニア事業推進室)

- 東海道新幹線ひかり・こだま停車駅の利活用に向けた取組推進。

【リニア中央新幹線の整備促進】(リニア事業推進室)

- 期成同盟会（全国・県）を通じた要望、調整、啓発活動等の実施。

【中部国際空港の第二滑走路の整備をはじめとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等。

【地域交通活性化】(交通対策課)

・ 新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施。

④安全・安心な旅行環境の整備

【観光産業における災害対応力強化】(観光振興課)

・ 旅行者の安心、安全を確保し、観光地の受入機能を維持できる体制を構築するため、観光産業における災害対応力強化に向けた調査を実施。

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

・ 観光施設の受入体制の整備を促進するため、市町村による施設の設置・改修に対する補助事業を実施。

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

・ 愛知県災害多言語支援センターの設置訓練や、市町村職員や市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及び FAX では５ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは４ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【あいち防災アクションプランの推進】(防災危機管理課)

・ あいち防災アクションプランに基づく各施策の実施。

⑤オーバーツーリズム(観光公害)への対応

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課) -再掲-

・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用したバリアフリー対応、多言語対応

【Aichi Now Web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」にて、バリアフリー情報を発信。

・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

②デジタルを活用した移動や消費の円滑化

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

・ 愛知県観光協会と協力して、二次元コードを活用した「あいち・なごや周遊観光パスポート」を造成し、１台のスマートフォン(または１枚の紙チケット)で美術館・博物館等に入館できる環境を整備。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による受入環境の整備促進

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティへの対応を支援するセミナーを開催。

展開分野Ⅳ　観光地経営体制の強化

A. 高付加価値化の推進

①観光コンテンツ造成や PR・プロモーションの能力強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- 市町村・地域観光協会に対し、観光動態データを活用して、観光コンテンツ造成や PR・プロモーション能力の強化を支援。

②観光施設等における受入力強化の支援

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課) -再掲-

- なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(コンサルタント派遣事業)を実施。

③「ツウ」な人でも満足できる観光ガイドの育成及びガイド団体との連携強化

【産業あないびと育成】(観光振興課)

- 地域で活躍する観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

④県民による県内観光の促進

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課)

- 「あいちウィーク」期間中に、主として県民を対象にした、県内各地・施設でのガイドツアーやガイドプログラムを実施。

【全国通訳案内士指導】(国際観光コンベンション課)

- 外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする全国通訳案内士の申請登録等を実施。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な観光地経営体制の確立

【市町村・地域観光協会等の観光地経営体制の強化】(観光振興課)

- 市町村・地域観光協会等が策定する観光振興計画等への助言等。
- 県内各地のDMOが、観光需要の平準化や観光産業の収益向上等の課題に効果的に対応できるよう、実態把握のためのデータの収集・分析等を実施。

②観光関連産業の労働生産性の向上と人材確保

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課)

- 宿泊事業者の経営者向けに、2024 年度及び 2025 年度に実施した業務改善の成果の現場での活用に向けたセミナー及びワークショップを実施。

③観光需要の平準化

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課)

- 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施。

【ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- 平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」(愛知県観光協会発行)を広告・PR面で支援。

【休暇を取得しやすい職場環境づくり】（労働福祉課）

・「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の推進。
・ 勤務間インターバル制度の普及促進。

【家族と子どもが一緒に過ごせる仕組みづくり】(教育委員会)

・ ラーケーションを導入する学校におけるモデル事業の実施や校務支援員の配置（小・中・義務教育学校 962 校、市立高等学校１校、市立特別支援学校４校、市立高等専修学校１校、県立高等学校 147 校、附属中学校４校、夜間中学１校、県立特別支援学校 32 校）。

【全国知事会を通じた「休み方改革」の推進】(地方創生課)

・「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進。

④地域の観光関連産業をリードする人材の育成・確保

【観光まちづくり推進】(観光振興課) −再掲−

・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するとともに、優秀な企画についてはブラッシュアップを行い、商品化・販売につなげる。

C. デジタル化・DX の推進

①地域における観光デジタル人材の育成・活用

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) −再掲−

・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

②人流・消費データ等のデジタルデータを活用したマーケティング環境の整備

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) −再掲−

・ 市町村・地域観光協会の職員に対し、観光動態データを閲覧できる環境整備を実施。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) −再掲−

・ ジブリパーク来園者の属性データ等を旅行会社＆メディア向け愛知県観光情報サイト「Aichi Now PRO」にて公開。

③観光 DX の推進による観光関連産業の労働生産性の向上

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) −再掲−

・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、観光 DX を活用した業務改善に向けた助言を実施。

D. オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光地経営体制の強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) −再掲−

・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等の開催。

②異業種・学術機関との連携による観光地経営体制の強化

【観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) −再掲−

・ 宿泊事業者と、省力化等に向けた支援や人材の紹介を行う事業者等とのマッチングイベントの開催。

展開分野Ⅴ　MICE の誘致・開催に向けた取組強化

A. 高付加価値化の推進

①テクニカルビジット・ユニークベニュー等の開発・活用促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- 受入企業を含むモデルコースを策定し、商談会や見本市で発信。
- 「愛知・名古屋ユニークベニューガイド」を発信。

②高級ホテルなどの充実

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金制度の PR パンフレットを用いて制度を広く周知するとともに、ホテル事業者等への働きかけを行い高級ホテルの立地を促進。
- 開業済みの事業認定ホテルに対し、補助金を交付。

③開催支援メニューの充実

【催事開催支援(展示会産業振興基金　官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- Aichi Sky Expo への国際的な催事や全国的な産業見本市等の誘致を通じ、展示会産業の活性化を図ることを目的として、主催者が催事の開催に要する経費の一部を補助。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、レセプション開催支援やギブアウェイの提供などを実施。大規模な企業ミーティング・インセンティブ旅行に対し、貸切バスを提供。

④大規模イベント・プロジェクト等を活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 商談会、見本市において、本県での大規模 MICE の開催実績とともに宿泊等の優れた都市機能を PR。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な MICE に関連する国際認証の取得等に向けた取組の促進と主催者等への取組の PR

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- 参加する見本市、商談会や、ニュースレター等において、県内 MICE 施設のサステナビリティに向けた取組を発信。

【施設のサステナビリティ(持続可能性)に対する取組の情報発信】(国際観光コンベンション課)

- MICE 主催者等に対し、本県が持続可能性の観点から優れた開催地であることを PR するため、Aichi Now 等を活用し、MICE 施設や主要ホテルのサステナビリティに向けた取組の情報を発信。

②日本政府観光局(JNTO)との連携による MICE 専門人材の育成・活用等

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- JNTO が主催するセミナーへの参加や、海外 MICE 見本市へ共同で出展。

③県民・市町村等に向けた MICE 開催効果の理解促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 国内外の MICE キーパーソンや旅行会社に対して発信する、愛知・名古屋の最新の MICE 情報等をまとめたニュースレターを、MICE の開催地域における地域の機運醸成を図るため、構成団体等にも発信。

C. デジタル化・DX の推進

①デジタルを活用した PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 営業ツールのデジタル化を図るため、愛知・名古屋の MICE 開催地としてのポテンシャルを効果的に PR するために作成した動画を活用。

D. オープンイノベーションの促進

①経済界・学術機関との連携による国際会議と展示会・見本市の誘致

【アジア開発銀行年次総会開催支援】(中小企業金融課)

・ 2027 年５月２日～５日に愛知・名古屋で開催される第 60 回アジア開発銀行年次総会について、支援実行委員会として名古屋市及び経済界と連携し、その成功に向けた支援活動を実施。

【AXIA EXPO 開催】(国際展示場室・産業立地通商課)

・ (株)日刊工業新聞社と連携して、2024 年度に立ち上げた「AXIA EXPO」を継続開催し、開催実績を積むことで、展示会会場としての Aichi Sky Expo のポテンシャルを周知し、他の産業展示会の誘致を促進。

・ 「AXIA EXPO 2026」では、カーボンニュートラル社会の実現をテーマとし、国内外の企業による先端技術の展示や商談を実施。また、アジアの企業や政府機関が出展する「アジアパビリオン」や、県内の中小企業・スタートアップなどが出展する「愛知県パビリオン」を設置。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 国内外で開催される MICE 見本市や商談会に出展・参加。

②経済界との連携による会議と報奨・研修旅行の誘致

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

・ 海外企業からのニーズが高い複数都市を巡るインセンティブツアーに対応するため、東京都・(公財)東京観光財団と連携し、海外のミーティングプランナー等を対象に、ファムトリップを実施。

・ 国内外で開催される MICE 見本市や商談会に出展・参加。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画で定めた観光振興に関する施策の 2025 年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、2026 年９月 11 日(金)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏　名	所　属・役　職	出欠
板垣　彩子	独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部　次長	出席
袁　静	株式会社行楽ジャパン　代表取締役社長	出席
遠藤　剛	名古屋市観光文化交流局観光交流部長	出席
◎大澤　健	国立大学法人和歌山大学経済学部　教授	出席
クリス・グレン	有限会社ﾊﾟｽﾄ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ・ﾌｭｰﾁｬｰ　代表取締役	出席
中村　忠人	一般社団法人日本旅行業協会　中部事務局　事務局長	出席
西原　浩二	一般社団法人全国旅行業協会　愛知県支部　事務局長	欠席
西村　哲治	公益社団法人日本観光振興協会　中部事務局長	出席
二神　真美	名城大学　名誉教授	出席
○横山　陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部　客員教授	出席
渡邉　実典	一般社団法人日本ホテル協会　中部支部　事務局長	代理出席

◎…委員長、○…副委員長

2026 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
（2025 年度年次報告書）
2026 年 11 月発行

作成・発行
愛知県観光コンベンション局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電　話　052-954-6353
メール　kanko@pref.aichi.lg.jp
Web　https://www.pref.aichi.jp/site/tourism-promotion/